



宮城県太鼓連絡協議会  
事務局  
片岡 大助さん  
(中田町)

今回の太鼓まつりが盛會に、そして無事に終えられたことに事務局としてほっとしています。出演された団体、来ていただいたお客様、そしていろいろな面でご支援をいただいた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

6県の太鼓団体が集結し復興を発信する場として、被災地の岩手県や福島県からも交通の便が良いこと、東北太鼓連合の副会長でもある米山丸山太鼓の久保泰宏さんの働きかけなどがあって実現したものです。

## 太鼓の仲間の絆に改めて感謝

この太鼓まつりを登米市で開催することになったのは、東北6県の太鼓団体が集結し復興を発信する場として、被災地の岩手県や福島県からも交通の便が良いこと、東北太鼓連合の副会長でもある米山丸山太鼓の久保泰宏さんの働きかけなどがあって実現したものです。



屋外では登米・南三陸物産市や軽トラ市も開催、大勢の人でにぎわいました。



会場には、県内外から約1700人が訪れました



県内太鼓団体による息の合った合同演奏は圧巻の迫力でした



登米市からは豊里風太鼓が単独演奏を披露

東日本復興支援・感謝太鼓まつり

主催：東北太鼓連合 共催：公益財団法人 日本太鼓財団 主管：宮城県太鼓連絡協議会



財団法人 日本太鼓連盟  
宮城県支部

## 東北6県から32団体 450人が参加

東日本復興支援・感謝太鼓まつりは、今年5月に発足した東北太鼓連合（渡部世一会長）の主催。東北6県の被災した太鼓団体が、公益財団法人日本財団の支援を受け活動を再開したことから、東北各県から34団体、約450人が参加して行われたものです。

演奏に先立ち祝辞を述べた布施孝尚市長は「本日の会場となっている、とよま蔵ジヤムは1年前には被災地の最前線基地として活動していた場所です。1年たって、このような復興の足取りを刻むことができるのを大変うれしく思います」と感謝の気持ちを表しました。

当日は、県太鼓連絡協議会登米連に加盟する9団体が運営を行い、日本財団から太鼓の支援を受けた豊里風太鼓（豊里町）が単独演奏を、合同演奏や繋ぎ太鼓で、とよま日根牛太鼓（登米町）、森風龍太鼓（迫町）、登米春嵐太鼓（中田町）、米山丸山太鼓（米山町）、津山創作太鼓（津山町）が演奏を披露。屋内外で東北6県の太鼓団体による演奏が繰り広げられ、県内外から集まった約1700人の観衆を魅了しました。

声

VOICE



米山丸山太鼓  
久保 幸子さん  
(米山町追土地)

米山丸山太鼓のメンバーとして、県内の太鼓団体の合同演奏などに参加しました。今年から丸山太鼓の活動を始めた娘の舞桜（8歳）も一緒です。

大勢のお客様が見ている中でも緊張しましたが、会場からとよまさんの拍手をいただき、とても気持ち良かったですね。他の団体の方の演奏を見て勉強にもなりましたし、もっともつと頑張ろうという思いが強くなりました。



豊里風太鼓  
鎌田 和敏さん  
(豊里町東二ツ屋)

豊里風太鼓で参加しました。昨年の震災で私たちの太鼓も被害を受けて困っていた時、日本財団から支援を受けて新しい太鼓をいただくことができました。もう一度活動できるとあって、今回は猛練習をして臨みました。当日は、被災地の方々も大勢来てくださいましたので、とても力が入りました。これからも復興のイベントがあると思います。私たちの太鼓を皆さんに聞いていただきたいですね。

感謝  
太鼓まつり